



国際ロータリー第2730地区

2008.7~2009.6

佐土原ロータリークラブ週報

2008~2009年度RIテーマ



会長：太田 忍 幹事：吉田康一郎
 副会長：柳田 光寛 会報委員長：中武 幹雄
 会計：宮内 文功
 事務局：吉野由里子
 宮崎市佐土原町下田島 11703-18
 TEL：0985-62-7833 FAX：0985-62-7877
 例会日：毎週水曜日
 例会場：ハイビスカス ゴルフクラブ
 TEL：0985-73-0109

8月27日(水)・・・会員卓話
 9月3日(水)・・・会員卓話「荒武義博君」
 9月10日(水)・・・ゲスト卓話

本日のプログラム

- | | | |
|--------------------------|---|-----------------|
| 1. 点 | 鐘 | 7. ハッピーBOX 披露 |
| 2. ローターソング「それこそロータリー」 | | 8. 委員会報告 |
| 3. 四つのテスト「濱田松太郎君」 | | 9. 出席報告 |
| 4. 会長の時間 | | 10. 会員卓話「中武幹雄君」 |
| 5. 幹事報告 | | 11. 点 |
| 6. 今月のセレモニー
「水浦君・村岡君」 | | 鐘 |

佐土原ロータリー月間テーマ

【会員増強拡大月間】

第1036回 平成20年8月20日(水)

第1035回の記録 平成20年8月6日

会長の時間

太田 忍 君

先週はガバナー公式訪問も無事終わり御苦労様でした。終了後は私と岩切パストガバナー補佐で、西都までお送り致しました。

途中、宝塔山と鶴松館に寄りました。

宝塔山では20周年記念事業の桜の植栽の場所にお連れしロータリー植樹記念碑も見させていただきました。植樹は引続き行う事業ですから地区資金の事もありますし良かったと思います。

鶴松館では佐土原の歴史を島津藩が治めていた頃の話詳しく館長よりガイドしていただき喜んでおられました。

さて、本日8月6日8時15分は広島に原爆が落とされた日です。あれから63年経ちますが、原爆の悲惨さを忘れないためにお話したいと思います。

昭和13年、ドイツの科学者ハーンとシュトラウスマンがウラニウムの核分裂現象を発見しました。(※ウラニウム1gを爆発させた時の力は約100戸の家の電気を供給できる力だそうです。広島は1,000gのものが一度に爆発したと同じ力だったといわれています。)その核分裂現象を発見した頃、ヒトラーに率いられたナチスドイツは原子爆弾の研究を始めていた。その開発を恐れたドイツの原子物理学者達はアインシュタインを通じてアメリカに亡命し、その時のルーズベルト大統領にドイツより早くアメリカが開発しようと言い『マンハッタン計画』が始まりました。

研究が進んで1945年(昭和20年)7月16日、広島に原爆の20日前にニューメキシコのアラゴモードで実験をしたそうです。当時立ち会った兵士達は核の恐ろしさを知らず、『景気のいい花火だ』と見ていた。

あまりもの威力にマンハッタン計画の中止を当時のトルーマン大統領に科学者達に訴えますが拒否されとうとう実行されることになりました。

投下目標は、広島→小倉→長崎→新潟の順と決定され、目標都市は原爆を落とすまで空襲せず、原爆の破壊力がはっきりわかるように市街地を残したそうです。

当時の広島は人口は35万人で、死者14万人、負傷者、行方不明者16万人でした。二度とこのような事のないよう私達は、原子爆弾の恐ろしさと平和のありがたさを、次の世代に伝える責任があると思います



幹事報告

吉田 康一郎 君

- 例会変更～報告なし。
- 8月度ガバナー月信に RI 主催会議（会員増強）
ー東京 報告書が掲載されております皆さん是非熟読し意識を高めて「会員増強」をやり遂げましょう。
- 本日会長・幹事会が宮崎 RC 幹事にて「花月亭」で行われます。内容につきましての報告は 20 日に致します。
- 来週 13 日（水）の例会はお盆特別休会です。お間違いない様お願い致します。猛暑が続きますので健康には十分留意されて 20 日に元気な顔でまたお会いしましょう。



ハッピーBOX披露

- ※藤堂孝一君～ガバナー公式訪問無事終了！
太田会長お疲れ様でした。「財団へ」
- ※正岡文郁君～皆さん暑さに負けぬよう精出しましょう。「米山へ」
- ※岩切正司君～皆で会員増強に頑張りましょう。「米山へ」

委員会報告

- 奉仕プロジェクト委員長 藤堂 孝一 君

「クラブ独自の奉仕プロジェクトとその実現性について」

地域社会への奉仕プロジェクト（社会奉仕活動） 海外への奉仕プロジェクト（国際奉仕活動）
以上二つの活動について委員会としての見解

私共、佐土原RCとしての社会奉仕活動・国際奉仕活動としては、奉仕プロジェクト委員会の中に位置します。少人数のクラブのため、CLPにそって委員会を構成しております。

地区協議会において社会奉仕委員会及び国際奉仕委員会の各部会に参加して佐土原クラブの活動計画をたてました。

①社会奉仕活動

今までに1997年の10周年記念事業として社会奉仕賞の贈呈を2つの団体に実施して以来、隔年ごとに社会奉仕賞と職業奉仕賞を個人並びに団体に贈呈してきました。

あじさい賞と任命し現在に継続しています。今年度もそのような地域に貢献している個人および団体を推薦してもらい理事会にはかる予定です。

②国際奉仕活動

現実的には計画は特にありませんが、西都クラブの昨年度のカンボジア井戸提供の件に関してその時の上田元会長に記念卓話を計画しております。

「現況」

今回初めて、奉仕プロジェクト委員会の委員長を務めるのですが、ロータリークラブの社会奉仕活動の位置づけが、まだはっきり分かっていないのが現実です。社会奉仕とは何かと言われてははっきり返答できません、ロータリアン必携のロータリー情報マニュアルの中に、地域社会のニーズを見つけてクラブの委員会に提起しなさい、また参加しなさいと奨励されています。

その中で、地域のニーズに対して重複して活動をしてはならない、行政や民間組織の実施している奉仕活動に参加してはならないなど、ロータリークラブが他の奉仕活動団体に加入したり、共同で事業をする事には、厳しく条件が付けられています。しかし、個人の資格で商工会議所や国際交流団体や社会福祉団体、社会教育団体など行政の外郭団体の有力な構成員として、その活動に参加することは一向にかまわないということです。

しかし現実的には近年では、個人奉仕と共にクラブの団体奉仕を推奨し、更にRIが積極的に奉仕の実践例を提案することが明記されているとのことで、年々実情が変化してきているのが現状のようです。

そういった中で、政治、経済が安定して、社会基盤が整備されている日本では、飢餓・疫病・教育などの対策は勿論のこと、寝たきり老人や身体障害者、高齢者対策などの施策を、行政の責任として取り組むことは、概に常識になっているし、その他の必要とされる社会のニーズのほとんども何らかの手が打たれ、規模の大小こそあれ、専門機関が設立されて活動されているのが現状です。

そういう中で、社会奉仕のニーズを探る作業が、だんだん難しくなっているのと田中毅パストガバナーが言われている文献を読み、まずは足元の佐土原高校とのインターアクトクラブの足がかりに成ればとの考えでおります。幸い昨年度の佐土原RC20周年において佐土原高校の弦楽演奏を実演していただき大いに式典を盛り上げていただき校長先生のRCに協力的関係をもっています。又、情報員会もロータリーの友、英語版を毎週届けるとの話聞いておりますので、同時に活動していこうと考えます。

委員会報告

○ 情報委員長 林 厚雄 君

【情報委員会報告】

去る7月28日に安満ガバナーを迎えて中部分区の各会長・幹事・情報委員長・新会員出席のもとで「新会員フォーラム」がホテルプラザで開催されました。

安満ガバナーの挨拶の後フォーラムに移り、事前に各クラブの新会員にアンケートを募っていた結果が発表され、その後新会員が各クラブ1名ずつ、入会しての体験・感想・意見を発表され、最後に各クラブの代表者による新会員への取り組み事例の発表がありました。

各発表者はこの後のガバナーアドレスの持ち時間を削られるほどの熱弁ぶりで大変盛り上がり、今回のフォーラムは初めての試みでしたが成功で終わったと思います。

新会員のアンケートの結果と私（情報委員）が発表いたしました内容は下記に記載いたします。

【広報委員会報告】

8月6日の例会の委員会報告時に中武広報委員長より報告がありましたが、7月26日に都城で開催されました2730地区の広報委員会に出席いたしました。

その中のひとつに、今年度はロータリーの友を広報委員会が熟読して一部分を例会等で紹介して頂きたいとの要望がございましたので我がクラブも勤めて実行したいと思っています。それで今月は（ホームページの新着情報にも記載）2点を選んでご紹介いたします。

① ロータリーの友8月号の左開ページの33ページから51ページまで「ロータリーの基礎知識」が記載されています。

ロータリアンとして確認の意味でも是非読んで頂きたいと思います。

② 右開きページの2ページから「水と健康」と題して水道の歴史や水と体の関係の重要性を解説された記事が記載されています。

水の大切さを再認識され、自分をはじめ家族の健康の為に参考にして下さい。

《新会員フォーラム報告》

我がクラブの「新会員への対応」

本来ならば新会員に入会後にある程度の期間、勧誘された会員を初めとして情報委員会等によるロータリーに関しての指導が必要であると思いますが、実際にはあまり実践されて無かったのが事実であると思います。

そのせいでしょうか、入会されても短期間でロータリーの本当の中身を味あえないで退会される方が多かったです。

これを機に、新会員への対応のあり方を見直し、又既存の会員の脱会をも防止するようなマニュアルを作っていきたいと思っています。

【新会員や会員の脱退防止案】

- 例会での声かけ挨拶、雑談、冗談を言う。
- 温かい人間関係を保つ。
- ロータリー情報を徹底する。
- 例会やプログラムのマンネリ化を防ぐ。
- 入会金や会費は可能な限り低くする。
- 地域に合った奉仕活動をする。

【太田会長・吉田幹事の意見】

◎3分間スピーチ等で新会員のロータリーに対しての問題を聞く。

例えばロータリー用語等

会長の時間や委員会報告・会員の卓話時に使ったロータリー用語の訳を 随時していく。

◎新会員の紹介者が1年間は席を同じにして例会に望んだほうが良い。

◎新会員の会社・仕事の経験・現状を人前で話すことによって慣れ親しんでもらう

○ 会員増強副委員長 梶田 與之助 君

7月12日（土）都城市メインホテルナカムラで開催されました（会員増強セミナー）に出席して参りました報告を致します。本日は「会員増強フォーラム」となっておりますのでよろしくお願い致します。

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

出席状況 第1031回

平成20年7月9日（水）

会 員 数	25名
(内免除1名)	
出 席 者 数	23名
欠 席 者 数	2名
出 席 率	95.0%
メークアップ	0名
修正出席率	95.0%

MEMO

例会中は携帯電話の電源を切るか
マナーモードにして下さい・・・
